

# 虹のかけはし

〒528-0074

滋賀県甲賀市水口町松尾 1256 番地

TEL: 0748-62-0234(代) FAX: 0748-63-0588

<http://www.kohka-hp.or.jp/>

## 手術支援ロボット“hinotori”の紹介

副院長補佐・手術部運営委員長

金 哲将



手術支援ロボットを用いた手術は年々増加し、従来の手術(開腹・腹腔鏡)に取って代わりつつあり、重要な位置付けとなっています。日本では2012年に前立腺癌手術が保険診療となり、現在約90%の根治的前立腺全摘除術がロボットを用いて行われています。保険適応も順次拡大され、胸部・腹部の一般的な手術は診療科を問わず手術支援ロボットの適応となっています。

これまでの開腹手術では、大きく皮膚を切開し病巣へアプローチ必要がありました。そのため、術後の回復に時間がかかり、社会復帰が遅れることもありました。また狭いスペースでは正確で繊細な操作が時に困難になり、出血量が増加したり機能温存の面でも不利益に働いたりすることがありました。手術支援ロボットは、3Dカメラを用いることにより鮮明かつ拡大機能をもつ三次元での手術を可能とし、人間の手以上の可動域を持つ3本のアームを用い、狭い空間でも自由な手術操作が可能になり、より繊細な手術施行が可能になります。また、皮膚切開創が小さく気腹圧により出血量が抑えられ、画期的な手術手技と言えます。

公立甲賀病院では、2023年9月に手術支援ロボット“ヒノトリ”が搬入され、消化器外科と泌尿器科では、2023年度中の実臨床での稼働にむけ医師・看護師・ME等のスタッフがチームを作り準備中です。消化器外科では大腸癌手術、泌尿器科では前立腺癌手術からスタートし、その後順次施行手術を拡げていく予定にしております。今後、手術支援ロボットの特性を活かし、患者さん毎に制癌性や術後の生活の質(QOL)両面を検討し、低侵襲性や機能温存を重視し手術を行ってまいります。



## 4年ぶりの病院フェスタに参加して

地域医療連携部(前方連携) 神谷直樹

11月11日、「公立甲賀病院フェスタ2023」が、実に4年ぶりに開催されました。フェスタ前日は雨天の中準備をしなければならず、当日の天候を皆で気にしておりましたが、当日朝は晴れ間が見え、昼頃には絶好のお出かけ日和と言えるほどの好天に恵まれ、来場者は約1,000人にのぼり、院内・院外のイベントともに非常に大盛況でありました。

「地域との密を目指して」というスローガンで開催した病院フェスタは、近隣の病院の協力もいただきながら市民の方々との交流はもとより、職員同士の交流も盛んに行われた良いイベントになったと思います。

普段、所属している部署同士で関わりがあったとしても仕事の話しかしない者同士が、知恵を出し合っ、イベントのアイデアから準備、そして当日のスタッフとして、密に深く交流することができたのではないのでしょうか。

コロナウイルスの蔓延していた間は多くのイベントが中止されただけでなく、生活のあり方や病気への捉え方自体が根本から変わったように思います。ただ、そういった時期を乗り越えたからこそ、私は健康のありがたみ、医療の重要性を感じております。

今後は地域の病院として、市民の方だけではなく、地域の医療機関からも頼られる病院として尽力していきます。

最後に、来る2024年2月1日(木)近隣医療機関向けに、オンライン講演会を開催予定です。

この講演会は医師だけではなく、医療従事者の方も参加していただけます。近日中に関係各署にはご案内をさせていただきますのでこの機会にぜひご参加ください。



### 編集後記

あけましておめでとうございます！時が過ぎるのは早いですね。話は変わりますが、うちはトイプードルの9歳の長女とミックス犬の5歳の長男と一緒に暮らしています。毎日仕事が終わって帰宅すると、シッポがちぎれんばかりにブンブン振って二人とも大喜びしてくれます。犬にとって時間のすぎ方をご存じですか？人間の4倍の速さだそうです。人間が仕事で家を空けると、犬の感覚では1日以上のお留守番時間になるそうです。「シッポブンブン♪」は時間換算して1日以上ぶりに主と再会できた喜びの証といえるでしょうね。ママを取り合いするわが子たちに癒される毎日です。犬などの小動物並みに、経過する時間・命を大切に、人と人とのつながりや良い関係性が気持ちよく空気のようにまとえるようになりたいものだと思っております。

(M)

